

会報 SHINSHIYOU

神私幼

平成21年6月1日
第168号
(昭和29年7月10日創刊)

発行：(社)神奈川県私立幼稚園連合会
 発行人：会長 渡邊 眞一
 編集人：神私幼総務部(広報室)
 発行：年4回(6月・9月・12月・3月)
 発行部数：1700部

<http://www.shinshiyou.com>

〒221-0011 神奈川県横浜市神奈川区神之木台22-14 県青少年課神之木台分館内
 TEL. 045 (430) 3102 FAX. 045 (430) 3103



4月 April

- 13(月) 第1回常務理事会
第1回理事会
- 22(水) 全日私幼連理事會
- 23(木) 第1回研究部会
- 24(金) 第1回経営管理部会
- 30(木) 第1回財務部会
関東地区会団体長会・理事会

5月 May

- 1(金) 会計監査
- 8(金) 第1回統合保育基礎講座
- 11(月) 第1回総務部会
第2回常務理事会
第2回理事会
- 13(水) 新規採用教員研修会(私学单独)
- 14(木) 第2回研究部会
- 18(月) 第1回統合保育基礎講座
免許状更新講習選択領域
- 20(水) オープン講座(鎌倉)
- 27(水) 全日私幼連総会
- 28(木) 平成21年度第1回通常総会

6月 June

- 3(水) 新規採用教員研修会(公私合同)
- 8(月) 園長等運営管理協議会
- 9(火) 第3回常務理事会
第1回協会長会
- 16(火) 第3回研究部会
- 17(水) 新規採用教員研修会(私学单独)
- 18(木) 父母連委員総会
- 25(木) 第2回統合保育基礎講座

7月 July

- 6(月) 第2回統合保育基礎講座
免許状更新講習選択領域
- 8(水) 第4回研究部会
- 15(水) 第3回理事会
- 23(木)・24(金)
幼稚園教育課程等
神奈川県研究協議会

8月 August

- 4(火) 免許状更新講習必修領域
新規採用教員研修会(私学单独)
10年経験者研修会
- 5(水) 免許状更新講習必修領域
新規採用教員研修会(私学单独)
10年経験者研修会
- 11(火) 保育技術協議会
- 20(木)・21(金)
第24回関東地区教員研修新潟大会
- 26(水) 県幼稚園教育課程説明会
- 31(月) 三浦半島地区教育研修大会

9月 September

- 2(水) 第5回研究部会
- 17(木) 園長等運営管理協議会
- 18(金) 第4回理事会
第1回父母連常任委員会

10月 October

- 13(火) 第4回常務理事会
第2回協会長会
第3回父母連常任委員会
- 19(月) 第6回研究部会
- 21(水) 新規採用教員研修会(公私合同)
- 27(火) 保育技術協議会

11月 November

- 10(火) 第5回常務理事会
父母連研修大会
第3回統合保育基礎講座
- 11(水) 湘南地区教育研修大会
- 12(木) 第7回研究部会
- 17(火) 第3回統合保育基礎講座
免許状更新講習選択領域
- 18(水)・19(木)
関東地区代表者協議会
神奈川大会



12月 December

- 8(火) 第5回理事会
第3回父母連常任委員会
- 10(木) 第8回研究部会

1月 January

- 14(木) 第9回研究部会
- 15(金) 第6回理事会
- 20(水) 川崎地区・県央地区
教育研修大会
- 22(金)・23(土)
都道府県教育研究会議
- 23(土) 横浜地区教育研修大会
※教育経営研修会

2月 February

- 5(金) 第6回常務理事会
- 12(金) 第7回理事会
- 16(火) 第10回研究部会
- 25(木) 第4回父母連常任委員会

3月 March

- 8(月) 平成21年度第2回通常総会
- 9(火) 第11回研究部会
- 12(金) 第7回常務理事会
第8回理事会

黒字→県連合会行事
 赤字→全日私幼連
 緑字→県等行事

(予定表は5月20日現在確定のものを掲載)

21世紀後半の県連活動の基礎づくり元年に

二十一年度は、前年度にもまして課題山積の一年になりそうです。団体の使命を十分に認識し、会員相互の理解とご協力を得て、十二協会、父母の会連合会が一体となって、更なる活動を展開していきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。



県連合会 会長

渡邊 眞一

二十一年度に入りました。今、県連と県学事は新型インフルエンザへの対応が緊急の課題となっております。今後の対応にご理解とご協力をお願いいたします。ところで、三月の総会の折に連合会設立六〇周年記念旗として「県連合会旗」を十二協会に贈呈させていただきました。今後は各協会の大会等にてご活用していただけたらうれしく存じます。この贈呈をもって六〇周年のまとめとしました。本当にありがとうございます。

人材の確保

民対象の事業展開を繰々検討し始めたとい念じています。詳しいことはいずれご案内いたします。次に、この一年の県連と園の運営に直接かかわりのある課題についてふれます。

さて、二十一年度は「かながわ幼稚園会館（幼児教育センター）」の完成が待たれます。建設は順調に進んでおります。この会館には「県連」「退職財団」「浜私幼」の三団体が入ります。移転の準備も進んでいるところです。県連はこの会館にて本来の県連事業の他、県

今秋の雇用状況が気になります。地区によっては「ハローワーク」に問い合わせをしても「ゼロ」回答という現実があります。学生の多くが保育所へ就職を希望するというのが実情です。経営管理部ではこの課題に県連としてどう対応すべきか……検討中です。地区により温度差があることは承知しておりますが、三、四年先の人材不足は否めません。今から園としてしっかりとした対策を求めます。

特例民法法人の二年目

連合会組織の見直しをしつつ、公益法人化（一般社団、公益社団）に向かつてさらなる検討をしなければなりません。会館の事業展開方針とあわせて二十一年度後半の県連活動の基礎づくり元年にしたいと考えます。

新採研の県連の全面実施

二十一年度から県に変わり県連が主催することになりました。横浜、川崎地区を除く十協会の新採の教員が研修の対象です。

教員免許状の更新

研究部が英知を結集した結果、県連独自の研修体制が確立できました。すでに更新講習を実施しているところで

就任にあたって



県民部長 水田 秀子

（社）神奈川県私立幼稚園連合会におかれましては、本県の幼稚園教育の振興、発展に日ごろからご尽力いただくとともに、県行政の推進にお力添えをいただき、誠にありがとうございます。また、神奈川の幼稚園教育振興のため、日々研鑽を積み重ねておられますことに、改めて敬意を表します。

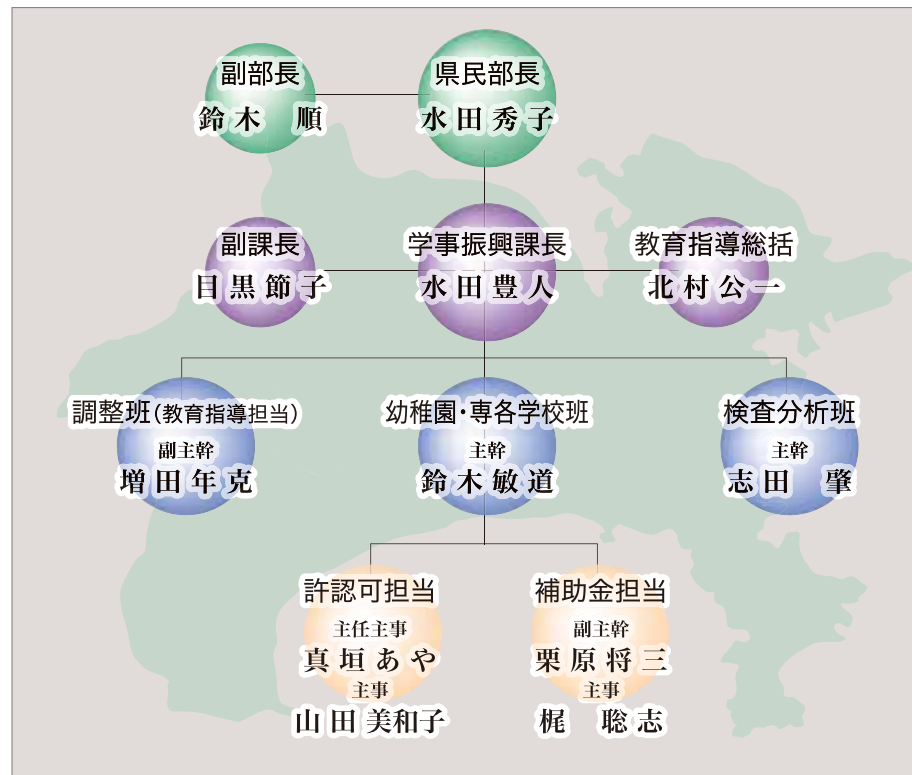
この四月に県民部長に就任し、私学行政に携わることとなりましたが、本県の私立幼稚園の果たしている役割の大きさ、重要性というものをひしひしと感じております。皆様方のご理解、ご協力をいただきながら、神奈川の幼稚園教育推進のため努力してまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。近年、核家族化や共働き家庭の増加など子育て家庭の形態が変化するとともに、少子化の進展も相まって、子どもや子育て家庭をめぐる環境は厳しさを増しています。また、いじめや不登校、暴力、さらには痛ましい事件も相次いでいます。こうした幼児を取り巻く環境や生活様式の変化の中にあつて、幼稚園は、学習の機会や場としての機能を果たすだけでなく、幼児を持つ親の子育て相談や交流の場など、各地域における幼児教育や子育て支援の中心的存在と

して、保護者や地域の方々から大きな期待が寄せられています。こうしたことから、県では、幼稚園がその期待に応えるための支援の一環として、平成二十一年度当初予算において、「預かり保育推進費補助」及び「地域開放推進費補助」について補助対象園を増やし総額を引き上げるとともに、「地域開放推進費」においては、認定こども園加算を新設するなど、経常費補助の確保に努めました。また、障害のある幼児と共に学び、共に育つ保育を推進するため、「特別支援教育費補助（従来の障害児教育費補助）」の補助対象園児数を増やし、また、幼稚園会館の開設支援など、幼稚園関係の予算の充実に努めたところです。さらに、県では、現下の厳しい雇用情勢を鑑み、国の交付金を財源とした基金を設け、この基金を活用した雇用就業機会を創出するための事業を実施することとしていますが、県民部としては、幼稚園のためにこの事業を大いに活用することとし、幼稚園連合会への教育相談員の配置事業、各幼稚園への預かり保育補助員の配置事業を新たに実施します。今後とも、子どもを安心して生み育てることができるよう、幼児教育の推進に向けた支援の充実に努めてまいりたいと考えております。幼稚園連合会の皆様におかれましては、幼稚園教育のさらなる充実・発展と、神奈川の次代を担う子どもたちの健やかな育成のため、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつとします。

神奈川県における私立幼稚園支援体制

分掌事務

- 1 教育委員会の権限に属しない私立学校（大学及び高等専門学校を除く）の学事一般に関すること。
- 2 宗教法人に関すること。
- 3 外語短期大学に関すること。



5 関東地区代表者協議会
すが、今後も県内の大学等と連携しつつ、質の高い更新講習をめざします。

6 県予算のことで
平成二十一年十一月十八日・十九日の両日、ホテルニューグランドを会場に代表者会議を開催。各県行政担当者による情報交換、そして今抱える教育・保育の課題について各県の実情を踏まえ、学び合います。

7 安心こども基金
県連事業として今一番頭が痛いのは二十一年度に向かつての予算対策です。県内唯一の幼児教育の責任団体と私立幼稚園の永続性の確保を今まで以上に強く訴える活動展開をしたいと考えます。

8 その他
二十一年度補正予算案が参議院にて可決されますと、七、八月頃には県を通して「安心こども基金」による補助内容が出ます。幼児教育の質の向上のための施設における遊具、運動遊具、教具、衛生用品等の環境整備やデジタルテレビ整備のための費用の援助があります。いずれお知らせします。

次世代法の見直しが七月頃から県市町村にてスタートします。いただいたアンケートをまとめ、数値目標をもった対応を県当局と行います。

県連大会
テーマ

心が響き合う幼稚園教育を

平成21~26年

Investigation
研究部

制度に魂を
注ぐことが
研究部の使命



研究部長
亀ヶ谷 忠宏

免許の更新制や学校評価のチェックリストなど、決してあなたがかいと云えない制度が義務化されました。教育の基本は、互いに信頼し合うことをベースにしないといけないと思うのですが、これらの制度は疑いの視点から出てきた制度のような気がします。

だからこそ、実際に研修を行うときには参加した先生一人ひとりに響く生き生きとした研修が行われなければなりません。

研究研修の核には子ども達に幸せになってももらいたい！ そのためには、向上心を持ち続ける素晴らしい保育者になってほしい！という主催者の熱意が必要で。

新しい制度の中でも、『心が響き合う幼稚園教育』を五年間の大会テーマに掲げ、情熱を持ちながら二十一年度も、研究部員三十名で研究部活動を進めてまいります。



統合保育基礎講座



新規採用教員研修会

新規採用
教員研修会が
スタートしました



研究室長
高 方子

今年度も神奈川県下ではたくさんの新任教諭が誕生いたしました。日々の保育にフレッシュでパワフルな力を発揮できるように新規採用教員研修会を開催いたします。

この研修会は、幼稚園教育の基本や幼稚園教諭としての在り方などを学び資質の向上を図ることを目的として、神奈川県私立幼稚園連合会と県とで開催いたします（横浜市・川崎市を除き）。

よりよい研修会にするために、これまで幾度となく県と連合会とで協議を重ねてきたところ、今年度からは私立幼稚園連合会が主催

平成二十一年度
免許状更新講習
について



研究部次長
岩本 勉

教育職員免許法施行規則の改正等により、平成二十一年四月から教員免許更新制が本格実施となりました。神奈川県連合会ではすでに平成二十一年度において、予備講習として選択領域十二時間を実施いたしました。平成二十一年度は必修領域十二時間、選択領域六時間の講習を計画しています。県連の講習をすべて利用していただければ更新に必要な三十時間の履修が可能となります。県内の教員養成校においても免許状更新講習の開設をする

平成21年度のポイント

- 1 教育要領の本格実施**
平成二十年度の周知期間が終わり、平成二十一年度より本格実施されます。
主な変更点
・ 体を動かすことや望ましい食習慣の形成
・ 友達と話し合ったり、考えたり、きまりの必要性に気づいたりすること
・ 幼稚園と小学校の連携
・ 預かり保育と子育ての支援
関連する県の事業
教育課程協議会 七月二十三日・二十四日、教育要領研修 七月二十六日 藤沢
- 2 俯瞰図に基づいた研究研修の定着**
・ 研究研修の案内やレジュメに俯瞰図番号が付与されます。
・ 「俯瞰図」をもとに、自分が今までに受けた研修（課題）、受けていない研修（課題）を把握し、自分が現在どのステージのどの場所にいるかを把握し、実践者としてのライフステージに偏りのないような研修を計画できます。
- 3 ハンドブックの定着**
・ 県連、各協会の行う研修にハンドブックを持って参加すると、研修を受けた証しのスタンプが押され、自分の研修の履歴を残せるようになります。
※平成二十一年度に行っていた受講票は今年度からは出しませんので、出来るだけハンドブックを持参下さい。（世界文化社より販売中）
- 4 免許更新講習の本格実施**
教員免許状更新講習が平成二十一年度より本格実施されます。
加盟園の先生方が不安にならないように、情報を提供しながら必要な講習を用意していきます。研究部としては、免除規定もありますが特に第一回目の更新講習を受けて頂いた上で、免許を更新することを奨めていきたいと思います。
- 5 (財)全日私幼 研究機構関係**
○更新講習必修十二時間用のテキストを作成します。平成二十一年度中に出版
○「幼児教育実践学会」の立ち上げに向けて準備しています。
平成二十一年度は本格実施に向けて二十一年度はプレ学会を行う予定です。
主 旨
・ 実践を踏まえた研究であること。
・ 現場と共に歩む若手研究者を育てる。
・ 研修のメイキングの仕方を探り、各地区に広める。
プレ学会
・ 期 日 平成二十一年一月二十三日（土）
・ 場 所 京都私学会館
・ テーマ 「五歳児」研究

平成21年度 統合保育基礎講座

講師



上原 文 先生
神奈川県立保健福祉大学特別研究員
精神保健福祉士

- 第1回 5月8日(金)/5月18日(月)**
テーマ 「配慮の必要な子どもの理解と対応」
近年の障がい像の変化、早期療育の基本、配慮を必要とするという考え方、幼稚園としての対応などを学びます。
- 第2回 6月25日(木)/7月6日(月)**
テーマ 子どもの心の発達・子どもをめぐる環境
子どもの心の育ちを中心に、現代における子どもの心の問題について考えます。
- 第3回 11月10日(火)/11月17日(火)**
テーマ さまざまな家族への支援
「支援」の捉え方、「障がい受容」、様々な支援のプロセス、そして近年の問題である「大人の精神障がい」について学びます。

各部活動方針

昨年の60周年を終え、連合会は新たな1年目のスタートを切りました。役員任期2年目の今年度、幼稚園会館の開設も含め、課題山積です。各部長に本年度の活動方針を聞きました。各部とも前向きに、密度濃く取り組む決意です。会員各位の英知を結集し、神奈川の幼稚園教育を前進させましょう！

社団の透明性を

financial
財務部



内藤 義幸

安定した幼稚園運営を目指して

business management
経営管理部



金子 敏明

新年度の振興は……

promotion
振興部



山口 繁美

会務の円滑な運営へ

affairs
総務部



丸山 征

一、事業別予算編成
三年前より施行した新会計基準により各部の事業計画予算については、定款に基づき事業別予算編成をとっています。事業終了時には理事会に諮りその内容を説明し開示していきます。

二、財務の透明性
総会で承認された事業や予算が会員に見えるように務め、会費が生きた活動にどうつながっているかを確認し、使途に対する透明性を担保できるようにしたいと思います。

三、補正予算
今年度は県連所有の土地の売却、それに

平成二十一年度の活動計画は、昨年度と同様に、

一、人材確保・育成の為の研修会
二、後継者育成研修会
三、労務管理研修会

の三つの事業を行います。

安定した幼稚園運営の為には、優秀かつ永続的に勤務をしていただける教員の確保が欠かせません。教員育成校の就職担当の先生と忌憚の無い話し合いをし、今の学生気質を理解した上で、意欲を持った学生が就職後その志をもち続けられる為の環境整備が必要です。特に人的環境・勤務実績貢献度に対する評価は各園により事情が異なり、研修を通して経営者が優秀な教員を育てていく為の研修を行います。

後継者育成は、幼児教育に意欲的に取り組む次世代経営者を育てるとも重要な会

県予算は私幼振興の土台です。その土台の上で各園が教育内容の向上、適切な教育経営を考え、地域社会の一員として「幼稚園」を位置付けさせる、振興とはまさにこの様な事と思われまます。

今年度の県予算は経常費・教材費共にマインナス（園児数割戻し単価）となりました。ティーム保育補助は国の制度の変更とはいえ、県単支出分もゼロとなり、なくなってしまう。預かり保育補助は国の補助単価に到っていません。この現状は自らの不徳と考えざるを得ません。二十二年度の要望に向けては、『要望活動をゼロからスタートする』を肝に銘じる必要を感じます。

そこで、県連合会の対県要望をサポートする活動が不可欠となります。それは幼児教育振興連盟の活動です。少し広く県外を

二十一年度総務部の課題として、次の二つが上げられます。

(一) 幼稚園会館の運営について
(二) 関東地区代表者協議会神奈川大会
幼稚園会館の運営については、新会館に移った日から運用が始まります。スムーズな運用を心掛けなければと考えています。会員の皆様が待ちに待った会館です。その一大慶事に、水を差すことのないように、いやが上にも慎重に対処しなければと思っています。会員の皆様のご助力を是非お願い致します。幼稚園会館を、皆様に喜んで使って頂けるような設備、運用を心掛けたいと思っています。

今まで出来なかった事業が、出来る環境になりました。子育て相談（教育相談）、親子のふれあい広場……等、新たな事業の展開が可能になりました。その一方で新たな事業に対処すべき人の問題をどうするか大きな問題になってきました。会館の取得を機に、県連の組織の見直しが必要になったと思います。

次に、関東地区代表者協議会神奈川大会を、意義のある大会にしていきたいと思えます。理事の方全員の参加をお願いする事になります。遠方から参加する他県の方に、喜んで頂ける大会にしたいと意気込んでいます。ご協力宜しくお願い致します。

見てみると我々より厚いことはもとより、広く支援を得ているのがわかります。私幼を取り巻く現状から近未来を見通した時、私幼にとって決して明るさは見えません。保育制度改革による保育所入所の自由契約、保育指針の教育要領化、認定こども園の認定を受けても追いつかない状況が想像できるのです。

いま、多くの園が経営上、何とかなると考えている現状は無いでしょうか。より保育を豊かに、且つ充実させることが近未来を明るくすることに繋がるのではないかと、その為、今、設置者園長の行動が必要となります。幼児教育振興連盟の活動を通じ、県連合会の振興活動をサポートしていただきたいものです。幼稚園を次に引き継ぐ若い人々のために。

多くの後継者が参加出来る環境を整えていただき、参加者が知っているように実は分からなかった事を初歩から学び合える関係を作り合える会にしたいと思います。

その中であって経営者もコーチングの基本（部下との信頼関係のもと・適材適所の業務を任せ）を学べればより良い関係作りが出来ると思います。

労務管理研修会では、後継者・教員共により良く勤務する為には、しっかりとした労務管理が欠かせませんので、法改正された時代に即した規程を学び勤務規程の見直しを研修致します。又、事業運営の適正かつ透明性・弾力性・効率性の実現を専門家から学んでいく機会を持ちたいと思います。質の高い幼児教育を維持する為の土台となる分野を掘り下げます。

伴う幼稚園会館の取得という大事業があります。大幅な補正予算を提案することになります。

四、会費納入のお願い
期限までに会費の納入をお願いします。事業にかかる予算執行はもとより、更に今日の課題に対応するための事業については、理事会の議を経て、より使いやすくすることも大事なことと思えます。社団として、より透明性、公共性、公益性を考慮し推進していきたいと思えます。皆さまのご協力をお願いいたします。

研修会報告

開催日	研修名	会場	講師	テーマ	参加者数
5月8日(金)	第1回統合保育基礎講座	かながわ県民センターホール	神奈川県立保健福祉大学特別研究員 精神保健福祉士 上原文 先生	「配慮の必要な子どもの理解と対応」	163人
5月13日(水)	新規採用教員研修会	かながわ県民センターホール	県連合会会長 渡邊 眞一 先生 元 富士見幼稚園 主任教諭 兵頭 恵子 先生	「子どもの心に寄り添う保育」 -子どもの見方・捉え方-	163人
5月18日(月)	第1回統合保育基礎講座 教員免許状更新講習 (選択領域)	かながわ県民センターホール	神奈川県立保健福祉大学特別研究員 精神保健福祉士 上原文 先生	「配慮の必要な子どもの理解と対応」	107人
				特別支援対象児への理解を深める	43人
5月20日(水)	オープン講座(鎌倉協会)	ひがし幼稚園	アフタフバーバン代表・立教女学院 短大非常勤講師 北島 尚志 先生	「子どもの時間を共に生きる -遊びの中で育つ力」	167人

お知らせ

Information

幼児教育相談支援事業を実施します。
幼児教育にお悩みの方、疑問等について一緒に考えましょう。

教員免許状更新講習会開催

必須領域12時間を実施します。

期 日：8月4・5日

会 場：鶴見大学

申 込：6月30日まで

詳細につきましては
県連事務局までお問い合わせ下さい。

TEL. 045-430-3102
FAX. 045-430-3103

新規採用教員研修会スタート

高 方子(鎌倉みどり幼稚園)

5月13日(水)に今年度第1回の研修が行なわれた。渡邊会長から「神奈川の幼稚園について」の講話があり、続いて兵頭恵子先生からご自身の体験を通した「子どもの心に寄り添う保育」の講演があった。

「幼稚園の大切さ」や「決められたことを教え込むことが保育ではなく、子どもの気持ちを理解して寄り添い、子どもと共に生活をつくりあげることが保育である。」

ということが伝わり、不安や戸惑いを感じている時期に「明日の保育が楽しみになった」という受講者の感想が多く聞かれた。



統合保育講座開催

三橋 悦夫(飯島幼稚園)



第1回は、「配慮の必要な子どもたちの理解と対応」をテーマに、2回お話をいただいた。年々増えている気なる子どもの理解とその対応、どの園でも身近に抱えている問題だけに、先生方も熱が入り、定員150席の会場は何時も満席、今回は免許状更新講習の受講者も交えより真剣、2時間の講座がとても短く感じられた。

平成21年度神奈川県連合会加盟園数

協会名	園数	園児数	前年度園児数	前年度比
横 浜	263	集計中	55,849	集計中
川 崎	81	22,271	22,269	+ 2
横須賀	27	集計中	5,421	集計中
藤 沢	31	5,996	6,062	- 66
鎌 倉	22	3,282	3,316	- 34
茅ヶ崎	18	3,744	3,661	- 83
湘 央	39	6,870	6,921	- 51
小田原	12	1,379	1,445	- 66
相 和	28	5,292	5,351	- 59
相模原	34	7,798	7,970	- 172
逗 葉	7	896	960	- 64
厚 木	20	3,146	3,345	- 199
計	582	集計中	122,570	集計中

県連設立 1948年(昭和23年)

ようこそ連合会へ

新規加盟園情報

(平成21年4月 入会園)

相和私立幼稚園協会

学校法人古木学園 中央林間幼稚園

〒242-0007 大和中央林間6-7-13

(設置者・代表者名)古木 忠治

(園長名)古木 幸一

TEL. 046-274-1177 FAX. 046-275-5379

ホームページ: <http://www.chuorinkan.jp>

メールアドレス: info@chuorinkan.jp



田園都市線、小田急線「中央林間駅」から徒歩5分にあります。開園したての小さな幼稚園ですが、アットホームな雰囲気です。どうぞ長いお付き合いを宜しくお願い致します。

編集後記

就任ご挨拶

入園式では不安げな表情だった新入園児達も、この2ヶ月の先生方の頑張りで園生活を楽しめるようになってきたことでしょう。

体調を崩され療養中の井上一彦先生に代わり、4月より広報室長を務めることになりました川崎協会の鈴木と申します。何分突然のことに加え、不慣れな役目に不安一杯のスタートでしたが、無事に今年度の第1号が発行出来てひと安心です。

今号は年度当初なので、年間予定と共に各部長の先生方に事業計画と抱負をお聞きしました。皆様今年度の連合会の方向性がお伝え出来たら幸いです。

広報という思い起こすのは元会長の故佐保田先生の「しっかりした組織(団体)には必ず立派な広報誌がある」という言葉です。

今年度も連合会は幼稚園会館の取得、事務局の移転また関東地区代表者協議会の神奈川開催と話題は豊富のようです。立派な広報とまではいかないにしても、広報委員の先生方と力を合わせ4回の会報を通して、渡邊会長以下各役員の方の先生方の思いや連合会の取り組みを分かりやすくお伝えしていこうと思います。

ご理解、お力添えの程よろしくお願い致します。



広報室長 鈴木 伸司
(川崎協会・みゆき幼稚園)

発行

社団法人神奈川県私立幼稚園連合会

〒221-0011 横浜市神奈川区神之木台22-14

県青少年課神之木台分館内

TEL. 045-430-3102 FAX. 045-430-3103

印刷

(有)石黒印刷

〒232-0056 横浜市南区通町3-50-1

シティコープ弘明寺101号

TEL. 045-713-0080 FAX. 045-713-0036